

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム 来 夢

目標達成計画書

作成日: 平成 27年 06月 20 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	自己番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	8	権利擁護に関する制度の理解と活用	代表は、日常生活自立支援事業や成年後見制度が、利用者や家族にとって、重要な制度であることを理解しているが、職員は、制度の仕組みや申請について理解が出来ていないので、今後の課題として検討していく。	外部の研修会に参加し、資料やパンフレットを整備して、職員全員が理解できるように分かりやすく説明し、利用者や家族が、制度を必要とする時には、いつでも職員が、申請手続きが出来る支援体制を整えていく。	12ヶ月
2	10	運営に関する利用者、家族等意見の反映	家族の面会や行事参加の時に、利用者や家族の意見や要望を聴き取っているが、参加されない家族もいるので、全家族の意見や要望を聞き出せる体制を整えていく。	年に2回程の行事を兼ねた家族交流会を開催し、個別に家族と話し合い、意見や要望を聞き取ったり、家族同士の会話の中から、悩みや心配事を話し合い、同じ思いを共有してもらい、利用者の安心に繋がる暮らしの支援に取り組んでいく。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。